

EUの核果類事情(モモ、サクランボ)

米国農務省GAINレポート 2024年8月29日

これは米国農務省海外農業局のマドリッド事務所(スペイン)が作成した「核果類年次報告書」のエグゼクティブサマリーと図表の一部を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

要約

EUでは、核果類の出荷シーズンが有望視されている。春の温暖な天候により果実の生育が早くなり、収穫は最大で約10日早く始まった。生産者らは、早期に収穫した果実を有利な価格で市場に出すことで恩恵を受けた。核果類の栽培面積は長期的に減少しているが、2024/25年販売年度(年度)の出荷量は、前シーズンを上回ると予想される。

生産量の回復にもかかわらず、消費量はわずかしか増加しないと予想される。この傾向の背後にある要因の1つは食品価格のインフレであり、最も価格に敏感な消費者らが生鮮果実の消費から離れている。核果類の消費意欲を削いでいるもう一つの要因は、EUの北西部で初夏の気温が平均よりも低かったことである。興味深いことに、熱帯果実等はその比較的高い価格にもかかわらず関心が拡大し続けており、柑橘類、生鮮落葉果実、核果類等のより伝統的なカテゴリーの果実が犠牲になっている。

EUは、モモの輸出が輸入を大幅に上回る純輸出者である。域内の出荷量が増大することで、輸出量が増加すると予想される。オフシーズンを中心とする輸入は、横ばいと予想される。サクランボに関しては、EUは純輸入者であり、トルコからの供給に大きく依存している。

核果類の生産者らは、EUの他のマイナーな作物の生産者と同様に、欧州連合(EU)の規制(植物防疫、環境、梱包に影響を与える)によって課せられる負担 - 最終的には生産コストに直接影響を与える - を懸念している。核果類はまた、気候変動の影響をますます受けている。生産者は、低温積算時間の少ない地域に適した低温要求量の少ない品種や、収入機会が向上する可能性のある早生の品種を探している。他の果樹生産者と同様に、収穫期の労働力の確保は、核果類生産者にとって依然として大きな問題である。

<モモ・ネクタリン>

表1 EUのモモ・ネクタリンの生産需給統計

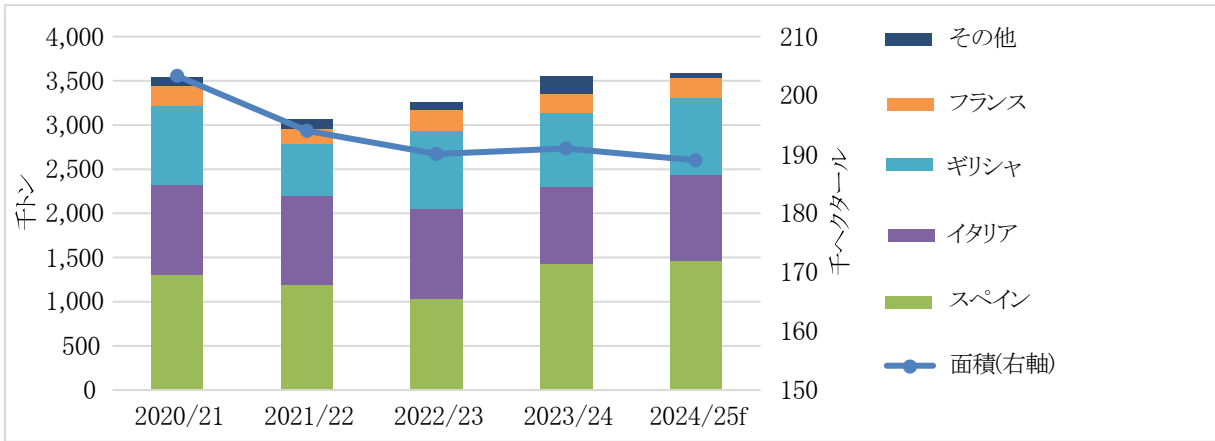
モモ・ネクタリン(生鮮) 販売年度の始まり 欧州連合	2022/2023		2023/2024		2024/2025	
	2022年1月		2023年1月		2024年1月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	197,087	201,260	195,953	191,306		189,310
収穫面積(ヘクタール)	182,341	186,315	181,434	170,889		174,424
商業的生産量(トン)	3,220,959	3,091,066	3,617,061	3,390,258		3,589,467
非商業的生産量(トン)	32,535	29,275	36,536	34,245		36,257
生産量合計(トン)	3,253,494	3,120,341	3,653,597	3,424,503		3,625,724
輸入量(トン)	41,000	40,922	40,000	47,580		47,700
総供給量(トン)	3,294,494	3,161,263	3,693,597	3,472,083		3,673,424
国内消費量(トン)	3,169,494	3,036,220	3,523,597	3,335,493		3,476,399
輸出量(トン)	125,000	125,043	170,000	136,590		197,025
総仕向量(トン)	3,294,494	3,161,263	3,693,597	3,472,083		3,673,424

公式データには [PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。

注: 「加工仕向量」と微量の「市場からの隔離」は「国内消費量」に含めた。

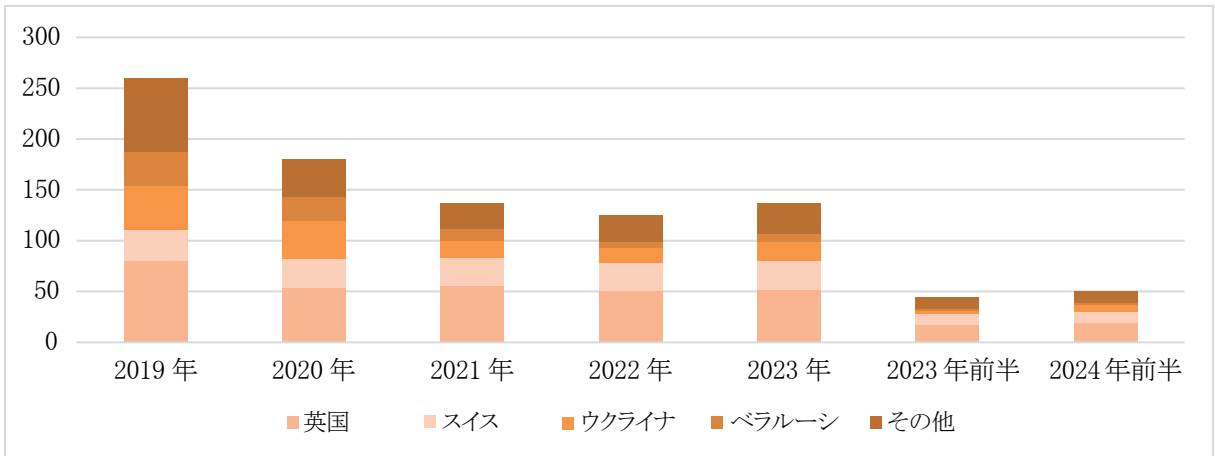
出典: 海外農業局EU内関係事務所

図1 EUのモモとネクタリンの栽培面積及び生産量



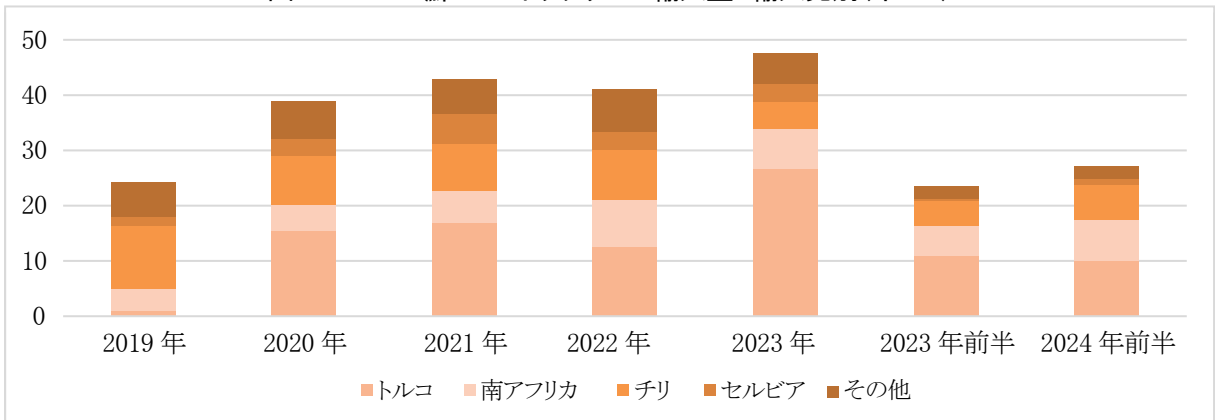
出典：各加盟国の統計に基づき海外農業局EU内関係事務所が推計 fは予測値

図3 EUの生鮮モモ・ネクタリンの輸出量 輸出先別(千トン)



出典：Trade Data Monitor LLC.

図4 EUの生鮮モモ・ネクタリンの輸入量 輸入先別(千トン)



出典：Trade Data Monitor LLC.

<サクランボ>

表2 EUのサクランボ(オウトウ)の生産需給統計

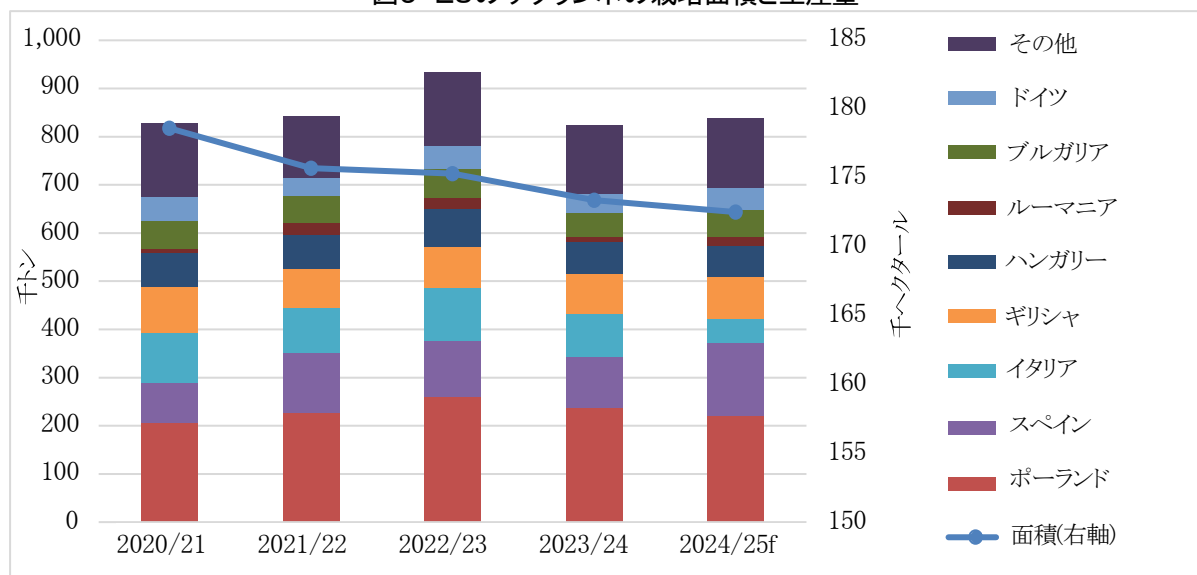
オウトウ(甘果、酸果)生鮮 販売年度の始まり 欧州連合	2022/2023		2023/2024		2024/2025	
	2022年4月		2023年4月		2024年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	165,381	164,324	165,286	160,607		159,892
収穫面積(ヘクタール)	157,596	155,731	153,756	154,189		153,093
商業的生産量(トン)	830,996	823,983	657,435	702,110		713,546
非商業的生産量(トン)	-	3,891	-	2,712		1,800
生産量合計(トン)	830,996	827,874	657,435	704,822		715,346
輸入量(トン)	29,000	29,062	40,000	57,923		60,000
総供給量(トン)	859,996	856,936	697,435	762,745		775,346
国内消費量(トン)	843,596	840,765	682,435	750,557		758,346
輸出量(トン)	16,400	16,171	15,000	12,188		17,000
総仕向量(トン)	859,996	856,936	697,435	762,745		775,346

公式データには [PSD Online Advanced Query](#) からアクセスできる。

注: 「加工仕向量」と微量の「市場からの隔離」は「国内消費量」に含めた。

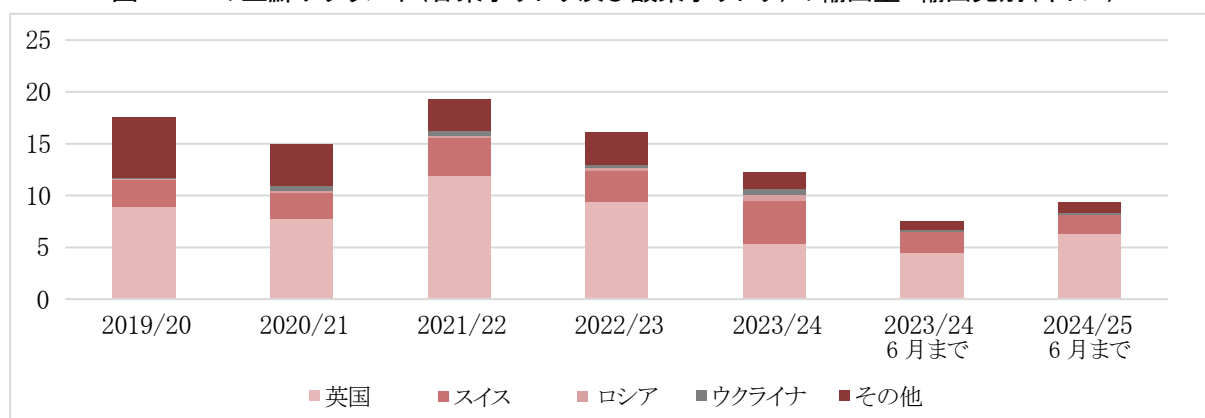
出典: 海外農業局EU内関係事務所

図5 EUのサクランボの栽培面積と生産量



出典: 各加盟国の統計に基づき海外農業局EU内関係事務所が推計 fは予測値

図7 EUの生鮮サクランボ(甘果オウトウ及び酸果オウトウ)の輸出量 輸出先別(千トン)



出典: Trade Data Monitor LLC.